

**TOPICS**  
**2**

## トピックス…②

# 横浜でワールドデイリー サミット2013を開催

10月28日から11月1日の5日間にわたり、国際酪農連盟日本国内委員会主催によるワールドデイリーサミット(WDS)が、22年ぶりに日本(横浜市)で開催された。WDSには、世界56カ国から2,100名余りの酪農関係者が集まり、講演会や親交を深めるための行事が開催され、盛況のうちに閉会を迎えた。

WDSは1年に1度、酪農乳業発展のための共通課題の解決に向け、世界中の酪農乳業関係者が一堂に会して議論する場である。昨年は南アフリカのケープタウンで開催され、来年はイスラエルのテルアビブで開催されることが決まっている。

わが国は国際酪農連盟(IDF)に加盟して以来、過去2度にわたりWDSを開催した実績があり、IDFの一員であることの確固たる地位を国内外に築き上げてきた。横浜で開催されたWDS2013では、「牛乳の再認識-母なる大地の贈り物」をテーマに、国際化が進む中で酪農乳業が広く国民の生存の在り方に関わっているとの認識に立脚し、食糧需給、飼料、環境、エネルギー、家畜の疾病予防と家畜福祉などの諸問題を国際社会と協調して解決することが課題となった。



29日に開催されたメインイベントのワールド・デイリー・リーダーズ・フォーラムでは、世界各国の主要乳業トップらが、国際的な酪農情勢や今後予想され

る食料不足、乳製品需給の変化、企業戦略など多岐にわたる問題を報告した。共通した問題として、人口増加が著しい新興国、とくに中国市場の重要性が強調された。

また30日に開催された酪農政策・経済特別講演会では、わが国の酪農関係者を代表して2名が講演した。ホクレンの板東寛之常務は、「多様な酪農経営をサポートするシステム」と題して、北海道酪農の多様性や農協組織の酪農支援に言及し、コントラクターやTMRセンターなど作業の分業化・外部化が進展している状況を紹介した。続いて、埼玉県の酪農家・吉田恭寛氏は、「教育ファーム活動による酪農の社会的価値の向上」と題して講演し、牛乳乳製品の消費拡大や酪農理解醸成のために始まった教育ファーム活動は、酪農の新たな価値の発見や酪農乳業の持続的な発展のために大きな役割を果たしていることを強調した。

このほか、酪農科学・乳業技術、子供とミルク、家畜の健康・福祉、農場管理、栄養・健康、マーケティング、環境、食品安全などをテーマにした特別講演会も開催され、世界の酪農乳業関係者が講演した。WDS2013閉会后、IDFのジェレミー・ヒル会長は、「今回の日本でのWDSは、参加者数、内容の多様性などの点から、過去最高のレベルだった。今後のIDFの活動にも良い影響を及ぼすことだろう」と総括した。

ワールドデイリーサミット2013の国別参加者数

番号	国名	参加者数	番号	国名	参加者数	番号	国名	参加者数
1	Algeria	1	21	Iceland	1	41	Philippine	1
2	Argentina	1	22	India	7	42	Poland	17
3	Australia	32	23	Indonesia	8	43	Russian Federation	8
4	Austria	2	24	Iran	3	44	Saudi Arabia	2
5	Belgium	20	25	Ireland	5	45	Singapore	3
6	Brazil	7	26	Israel	17	46	South Africa	13
7	Bulgaria	1	27	Italy	11	47	Spain	1
8	Canada	45	28	Japan	1,387	48	Sweden	13
9	Chile	4	29	Kenya	1	49	Switzerland	10
10	China	104	30	Korea	27	50	Taiwan	17
11	Croatia	2	31	Latvia	4	51	Thailand	4
12	Czech Republic	2	32	Libya	1	52	Turkey	22
13	Denmark	23	33	Lithuania	8	53	Uganda	1
14	Dominican Republic	1	34	Mexico	11	54	UK	21
15	Egypt	4	35	Mongolia	5	55	United Arab Emirates	1
16	Estonia	2	36	Morocco	2	56	USA	44
17	Finland	14	37	Netherlands	27	合計		2,106
18	France	50	38	New Zealand	38			
19	Germany	36	39	Norway	11			
20	Hong Kong	1	40	Pakistan	2			